

特 集

若手外科医必携！ 緊急手術の適応と術式

非外科的治療が格段に進歩した今日、診療現場では、救急疾患における緊急手術の適応判断に際し苦慮する場面が多いものと思われる。その判断は、施設の能力や、非外科治療を考慮する場合に関わるマンパワーなど総合的にくだされるべきである。また、高齢、妊婦などの患者側要因、さらには麻酔方法なども考慮することが必要であるが、比較的頻度の高い一般的救急疾患における治療の実際は、若手外科医が担当することがほとんどであろう。そこで、本特集では、実際に診療を担当する若手外科医向けに、保存的治療の適応と外科治療の適応の違い、ポイントを解説し、さらに最近施行されている術式についても紹介していただいた。緊急手術を考えたときの参考となるハンドブックとして、診療現場に置いてもらえるような特集を目指した。本特集を役立てていただければ幸いである。